



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

GOVERNOR:
SHIGERU SHIBATA

CREATE
LASTING
IMPACT



写真提供：宮古 RC 黒森神楽「山ノ神」

CONTENTS

ガバナーメッセージ.....	2	ローターアクト前期会長幹事会 開催報告 ..	11
特別月間によせて		米山記念奨学会 学友会総会の報告	11
基本的教育および識字率向上について.....	4	新入会員紹介.....	12
「ロータリーの友」月間によせて.....	5	退会会員報告.....	12
2026-2027年度ガバナー公式訪問 報告.....	6	寄付報告・2026-2027年度行事予定表・	
青少年交換帰国報告会並びに壮行会.....	8	お知らせ・お詫びと訂正	13
2025-2026年度青少年交換(長期)派遣生		編集後記.....	14
報告レポート	9		

2026
月信
Vol.03

9

SEPTEMBER

GOVERNOR'S MESSAGE ガバナーメッセージ

ガバナーとしての第一歩

2026-2027年度 ガバナー 柴田 茂

初秋の候、会員の皆様には、日頃よりロータリー活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

7月1日に「第2520地区丸」が出航してから3か月目になりました。7月中は、地区内15クラブへガバナー公式訪問を行い、多くの会員の皆様と直接お会いし、それぞれのクラブが地域社会のために積み重ねてこられた奉仕活動や、ロータリーへの熱い思いに触れる貴重な機会をいただきました。各クラブでは、会長・幹事をはじめ会員の皆様から心温まる歓迎をいただき、終始和やかで笑顔あふれる例会となりました。

地域に根ざした奉仕活動には、それぞれのクラブならではの特色と温かさがあり、「ロータ

リーの力は地域にあり、人にある」ということを改めて実感いたしました。

公式訪問で共通して感じたことがあります。それは、多くのクラブが子どもたちや青少年、そして社会的に弱い立場にある方々に寄り添う奉仕活動を継続して実践されていることです。

中でも私の心に深く残ったのは、子ども食堂への支援活動でした。クラブから届けられたお米で温かいカレーライスが作られ、子どもたちが笑顔で食卓を囲む。その光景を思い浮かべるだけで、奉仕の本当の意味を改めて考えさせられました。

一杯のカレーライスは、お腹を満たすだけではありません。「自分は一人ではない」「誰かが自分を大切に思ってくれている」という安心感



米山記念奨学会 学友会総会 2026年7月19日(日)

GOVERNOR'S MESSAGE ガバナーメッセージ

や希望を、子どもたちの心に届けています。

私は、その子どもたちが成長し、社会へ羽ばたく時、子ども食堂で食べたあの温かいカレーライスを思い出してくれるのではないかと思います。そして、「あの時、多くの人に支えられていた」という感謝の気持ちを胸に、今度は自分が誰かを支える側となり、新たな奉仕へと歩み始める。そのような思いやりの連鎖こそが、私たちロータリーが目指す未来ではないでしょうか。

国際ロータリー会長オラインカ・ハキーム・ババロラ氏は、本年度のメッセージとして「Create Lasting Impact（持続可能なインパクトを生み出そう）」を掲げています。私は、この子ども食堂での活動こそ、その理念を最も分かりやすく表しているように感じました。一つの奉仕が、一人の人生に希望を与え、その希望が次の奉仕へと受け継がれていく。その積み重ねが地域を変え、未来を変えていくのです。

また、7月にはロータリーアクト前期会長・幹事会や米山記念奨学会学友会総会にも出席し、未来を担う若い世代の情熱と可能性に触れることができました。

世界では今なお争いや分断が続いております。しかし、そのような時代だからこそ、友情を育み、互いを思いやり、平和を願うロータリーの精神は、これまで以上に大きな意味を持っています。

現在、第2520地区は72クラブの仲間が、それぞれの地域で誇りを持って奉仕活動を行っています。

「第2520地区丸」の航海は、まだ始まったばかりです。船長である私一人では、この航海を成功へ導くことはできません。72クラブす

べての会員の皆様が、それぞれの持ち場で力を合わせ、知恵を出し合い、支え合うことで、この船は力強く未来へ向かって進んでいきます。

これからも一つひとつの出会いを大切にし、皆様と語り、学び、そして共に歩みながら、「共に歩み、未来に飛躍する」という地区テーマの実現に向けて全力で取り組んでまいります。

第2520地区丸は、今日も会員の皆様の温かい奉仕の心を乗せて、未来という希望の港へ向かって航海を続けています。この航海で出会う一つひとつの笑顔、一つひとつの奉仕が、新たな希望となり、未来へ続く航路となることを信じています。

そして、私たち一人ひとりの小さな行動が、子どもたちの笑顔となり、地域の希望となり、やがて世界へと広がる「持続可能なインパクト」となることを願い、これからも皆様とともに歩み続けてまいります。

船長の一言

公式訪問を通して、私は改めて感じました。

ロータリーの奉仕は、決して大きな事業や多額の寄付だけではありません。一杯の温かいカレーライス、一袋のお米、一人への優しい声掛け。その小さな思いやりが、子どもたちの心に残り、やがて誰かを思いやる大人へと成長していく。その思いやりが次の世代へ受け継がれていくことこそ、「持続可能なインパクト」なのだと思います。

第2520地区丸は、これからも会員の皆様と心をつにし、未来へ希望を運ぶ航海を続けてまいります。

皆様も、ぜひ一緒に未来への航海を続けてまいりましょう。

特別月間によせて



基本的教育および 識字率向上について

パストガバナー(2024-25) 佐藤 剛 (水沢RC)

皆さん、こんにちは。昨年度は加藤ガバナーの豊かな発想により、世界のロータリアンとつながりを持ち、ウクライナの子どもたちへの支援を図る国際共同委員会（Intercountry Committees）の設立が実現しました。東日本大震災の際、ゾーン内のみならず世界中のロータリアンから受けた支援に対し、16年目にして恩返しができる体制が整いました。実施に当たっては、多賀城ロータリークラブの衛星クラブである多賀城 1300 ロータリー衛星クラブの会員が主に携わります。彼らは IT および英語リテラシーを生かし、本プログラムに大きく貢献してください。第 2520 地区のクラブ会員は、頭に鉢巻を巻いてコンピュータや英語と格闘する必要はなく、戦争が長引き心に傷を負ったウクライナの子どもたちおよびその母親への支援が可能となります。

この実現の原動力は、多賀城 1300RSC のメンバーのみならず、日本のロータリアンが趣旨を理解し、互いに意見を交わし合った結果です。「これから何を始めるのか」を文章として読んで理解できた賜物です。読めなかったり書けなかったりすれば、実現は難しかったでしょう。まさに教育の賜物と言って過言ではありません。

ロータリーのホームページから引用しますが、「世界では読み書きのできない 15 歳以上の人の数は約 7 億 7500 万人で、全世界の成人の 17%

にあたります。しかも、学校に通っていない子どもは世界に 6700 万人いると言われています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちの目標です」とあります。

驚くべきことに、いまだ人類の 2 割弱の成人が読み書きできない状況にあります。基本的教育を受けていなければ、病気になっても呪術や迷信に頼らざるを得ず、宗教への依存度が高くならざるを得ない状況も生じます。

また、「あらゆる犯罪の根源は貧困にある」という考え方もあります。犯罪に走らざるを得ない背景には教育の欠如があるという指摘もあります。現代の日本においても、「トクリュウ」と呼ばれる、誰からの指示かも分からないまま、わずかな金銭を安易に得ようとする若者が増加傾向にあります。

識字率の高い日本ですらこのような状況であることを踏まえると、識字率の低い国々ではより深刻な問題が生じていることは想像に難くありません。

明治時代の初期に日本を訪れた欧米人が最も驚いたのは、市井の女性が瓦版を読み、喜怒哀楽を表していたことでした。160 年前に、すでに識字率で世界のトップレベルにあった日本。その伝統を世界に広めてまいりましょう。

特別月間によせて



「ロータリーの友」月間によせて

ロータリーの友地区代表委員 佐藤 賢司（盛岡東RC）

毎月手元に届く『ロータリーの友』を開くたび、全国各地で活動するロータリアンの思いや実践に触れることができます。私たちは異なる地域や職業、年代の中で活動していますが、この一冊を通じて経験や価値観を共有し、互いに学び合うことができます。その意味で、『ロータリーの友』は単なる機関誌ではなく、全国のロータリアンの心を結ぶ大切な架け橋です。

ロータリーは「奉仕の理想」を掲げ、その実践を通じて地域社会や国際社会に貢献しています。しかし、全国で行われている活動のすべてを直接知ることは容易ではありません。だからこそ、『ロータリーの友』が果たす役割は大きいのです。誌面には活動報告だけでなく、そこに込められた思いや工夫、課題への挑戦、仲間との協力、そして達成の喜びが綴られています。それらに触れることで、自クラブの活動を見つめ直し、新たな学びや気づきを得ることができます。

また、『友』誌には人と人との距離を縮める力があります。誌面を通して出会う会員の言葉や体験談に心を動かされ、遠く離れた地域の仲間に親しみを覚えた方も多いでしょう。実際に会ったことがなくても、その人の奉仕への情熱や地域への思いは文章を通じて伝わってきます。そして、その共感が連帯感を育み、心と心を結び付けていくのです。

『ロータリーの友』の魅力は、情報を伝えるだけではありません。他クラブの取り組みから新たな発想を得たり、奉仕に対する考え方を深めたりする機会を与えてくれます。一つの記事が新たな事業のきっかけとなり、一人の会員の言葉が誰かの行動を後押しすることもあります。友誌は知識を共有する媒体であると同時に、理念を实践へとつなぐ力を持っています。

情報があふれる時代だからこそ、じっくりと文章を読み、人の思いに触れる時間は貴重です。『ロータリーの友』は全国の仲間との対話の場であり、学びと共感を育む場でもあります。

「ロータリーの友」月間に、改めて『友』誌の意義を見つめ直し、さらに心に残った記事を例会で語り合うことが、新たな友情と奉仕への意欲を生み出し、クラブの活性化にもつながります。『友』誌を通じて広がる共感の輪は、地域や世代を超えてロータリアン同士を結び付け、より強い絆を育んでいくことでしょう。

持続可能な
インパクトを
生み出そう

2026-2027年度 ガバナー公式訪問 報告

第 8 分区 名取ロータリークラブ

訪問日 / 7月13日🌞

■ 会場: 仙台空港カントリークラブ ■ 同行者: 金子隆史 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



和やかに過ごしていただきました。ありがとうございます。

会長・幹事会にて、標準ロータリー定款にある衛星クラブについて説明いただき、大変参考になりました。

(報告者: 山田洋司 / 名取 RC 会長)

第 1 分区 盛岡北ロータリークラブ

訪問日 / 7月22日🌧

■ 会場: ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング ■ 同行者: 川村英司 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



会長幹事会懇談会では、和やかな雰囲気の中、有意義で実りあるお話を柴田ガバナーより拝受しました。当クラブの活動方針に RI 会長方針が盛り込まれていることや、クラブの懸案事項に対して素早く対応していることなどを評価して頂きました。また、ポリオプラス・ソサエティへの継続的な寄付についてのご指導や、米山奨学会、スマイルの重要性についてもお話を賜りました。例会では、ロータリークラブの運営について講話を頂きました。退会者を出さないための対処法のアドバイスが印象に残りました。その後の懇親会は、盛岡北 RC らしく楽しく和やかな笑顔があふれる

時間となりました。ガバナー訪問に深く感謝するとともに、積極的な奉仕活動と安定したクラブ運営を目指して行きたいと思っております。(報告者: 細野裕之 / 盛岡北 RC 幹事)

第 6 分区 多賀城ロータリークラブ (多賀城1300ロータリー衛星クラブ)

訪問日 / 7月23日🌞

■ 会場: ホテルキャッスルプラザ多賀城 ■ 同行者: 佐々木正樹 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



ガバナー公式訪問を通じて、地区の方針や具体的な数値目標を柴田ガバナーご本人から直接お話しいただいたことで、会員一人ひとりが目指すべき方向性を再認識し、目標への意識を高める貴重な機会となりました。そして、多賀城ロータリークラブ会長が掲げるテーマや指針の意義がより深く共有されるとともに、クラブの進むべき方向に一層の確信と責任を持つ契機になったと感じます。また、当クラブの実情に寄り添い、会員増強や出席率の現状、多賀城 1300 ロータリー衛星クラブとの連携について貴重なご助言をいただきました。これらを今後のクラブ運営に生かし、会員が誇りとやりがいを持って活動できる、より魅力あるクラブづくりに繋げてまいります。(報告者: 小島邦道 / 多賀城 RC 幹事)

第7分区 仙台ロータリークラブ

訪問日/7月28日☼

■会場:ホテルメトロポリタン仙台 ■同行者:夏目雅貴 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



を伝えよう」というクラブ方針の実現へ向け、さらに充実したロータリークラブを創り上げてまいります。
(報告者:佐藤知樹/仙台 RC 幹事)

仙台ロータリークラブ「ガバナー公式訪問例会」へ、柴田茂ガバナーにご来臨賜りました。国際ロータリーおよび地区の運営方針ならびにロータリー活動の意義について、ユーモアを交えながらご講話いただき、会員一同、理解を深める貴重な機会となりました。また当クラブより昨年度ガバナーとして輩出した加藤雄彦会員へ慰労の意を込めた記念品を大勢の会員の前でお贈りいただきました。今年度、当クラブは創立90周年を迎えます。公式訪問を通じて得た学びと気づきをクラブ運営に活かし、草刈千賀志会長を中心に「プライド:誇りを胸に、誇り

第1分区 盛岡西北ロータリークラブ

訪問日/7月29日☼

■会場:ホテルメトロポリタン盛岡本館 ■同行者:川村英司 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



ながって行くのだと改めて本会会員が痛感することとなった。

懇親会ではご来訪いただいた3名に積極的に会員とご交流いただき、2026-2027年度の2520地区の「船出」を共有することが出来た。(報告者:白澤 仁/盛岡西北 RC 幹事)

会員42名中、22名が出席して臨んだ本年度のガバナー公式訪問。柴田ガバナーよりご自身のプロフィールを、聴衆を引き付ける映像を駆使しながらご紹介いただき、またRI会長オンラインカ・H・ババロラ氏のメッセージから4つの重点事項、ガバナーのロータリーに対するお考えをお伝えいただいた。特に「退会防止」についてその想いを語られた場面では、会員増強の為だけではなく、温かなクラブ運営が多くの良い影響を生み出し、活動の発展につ

第7分区 仙台南ロータリークラブ

訪問日/7月30日☼

■会場:ウエスティンホテル仙台 ■同行者:岩渕雄司 ガバナー補佐 原田誠章 代表幹事



例会に先立ち行われた会長幹事会では、クラブの活動状況や創立70周年に向けた取り組み、本クラブと衛星クラブの連携等について意見交換を行いました。例会では柴田ガバナーより、会員維持と退会防止、若い世代の地区リーダー育成、ポリオプラス・ソサエティへの登録、マイロータリーを活用した寄付についてご講話をいただきました。また、地域に根差した奉仕活動が生み出す持続可能なインパクトの重要性や、熊本の災害に対する支援についてもお話があり、ロータリー活動への理解を一層深める機会となりました。

(報告者:半澤修司/仙台南 RC 幹事)



青少年交換帰国報告会並びに壮行会

青少年交換委員会 委員長

佐々木 史昭 (花巻RC)

7月25日(土)、仙台育英学園宮城野キャンパスにおいて、2025-26年度青少年交換プログラムを無事修了し帰国された OBS 及川久玲羽さん、高橋杏奈さんの帰国報告会、並びに 2026-27 年度派遣予定の OBS 菅原杏さんの壮行会が開催されました。

帰国した2名から事前に提出して頂いた立派な報告動画を上映し、それぞれ英語とフランス語と日本語でご自身の体験を報告して頂きました。動画は素晴らしい出来映えであり、今後研修等に活用して参りたいと思います。



左から、高橋杏奈さん、菅原杏さん、及川久玲羽さん

8月21日(金)には今年度のIBSとして、フランス第1520地区からリュシー・ダンジョウさん(ホストクラブ:北上西RC、花巻北高に通学)1名が仙台空港へ到着し、22日(土)にオリエンテーション、23日(日)にホストクラブ引渡式が行われます。帰国したばかりの2人のOBSには、ROTEX(学友生)として日本語での自己紹介など指導頂く予定です。

地区の皆様には大変お世話になりますが、どうぞ宜しくお願い致します。



2025-26年度OBS2名と2026-27年度OBSを囲んで青少年交換関係者集合写真

報告レポート

2025-2026 年度青少年交換（長期）派遣生
仙台南 RC 推薦

く れ は
及川 久玲羽（常盤木学園高3年）

私は「2025-2026 年度青少年交換派遣」でフランスに派遣させていただきました。フランスでの10か月間はとても濃いものとなりました。

私はフランスで気づいたことが2つあります。1つ目は、人との関わりを大切にしているということです。フランス人は休日や平日に関わらず、友人を家に招待したり外に食べに

行ったりします。たくさんの人と関わることで自然にコミュニケーション能力が身につくと思いました。2つ目は、一人ひとりが自分を持っていて、意思があるということです。自分の好きな格好をして自分の好きなことをしているように見えました。どちらも素敵な文化だなと思いました。

日本料理を作ったり、折り紙を一緒に折ったりして日本文化の交流をしました。日本が好きだと言ってくれる方が多く、特に日本料理を作った時や日本語を教えた時はすごく喜んでくれました。日本の話をすることも多く、フランスから見た日本がわかりました。

ホストファミリーや学校の友達の存在は私の留学生活に大きく関わりました。知らない言語で知らない場所で生活し戸惑っている私をいつも支えてくれました。

留学生活はもちろん楽しいことばかりではありませでした。言葉の壁や人間関係、カルチャーショッ



学校近くの公園で友達とピクニック



私の誕生日会（ホストファミリーと友達）

クで悩んで泣くこともありました。

しかし、それを乗り越えたことが、私の自信と力になりました。留学という機会を与えてくださったロータリークラブの皆さまにはとても感謝しています。たくさんのことを学び刺激を受け自分を成長させることができた10ヶ月でした。

報告レポート

2025-2026 年度青少年交換（長期）派遣生
花巻 RC 推薦

高橋 ^{あんな} 杏奈（花巻北高3年）

私の留学生活は、毎日が新しい発見と挑戦の連続でした。ミネソタ州の高校では化学や世界文学、合唱など多様な授業を履修し、Chromebook を使ったデジタル中心の学習環境にもすぐ慣れました。

授業は難しい内容もありましたが、先生方が丁寧に教えてくれたおかげで前向きに取り組むことができました。クラブ活動にも積極的に参加し、World Culture Club やゴルフクラブなどを通して多くの友達ができました。

ホストファミリーとの生活は温かく、農場での手伝いやクリスマスの飾り付けなど、家族の一員として多くの経験をさせてもらいました。季節の行事や食事を共にし、文化の違いを楽しみながら深い絆を築くことができました。

また、ロータリーの例会では日本文化の紹介を行い、英語で自分の考えを伝える難しさと楽しさを実感しました。

多様な国の留学生と交流し、異文化への理解を深め、互いの価値観を尊重する姿勢を学びました。

留学中には差別的な言動や留学生同士のトラブル、体調不良など困難もありました。しかし、カウ



ホストロータリークラブの例会で

ンセラーや友人、ロータリーの支えを受けながら乗り越えることで、自分の成長を強く感じました。

留学生活は、文化理解、人とのつながり、自分自身への挑戦が詰まったかけがえのない時間でした。まだ将来の夢ははっきり決まっていませんが、留学で得た経験をこれからの進路を考えるうえで役立てていきたいと思っています。ロータリーの皆様、このような素晴らしい機会を与えてくださり、ありがとうございました。



ロータリーインバウンドオリエンテーション



ローターアクト前期会長幹事会 開催報告

地区RA代表 平野 史織（宮古RAC）

7月18日（土）、ローターアクトクラブの前期会長幹事会が開催され、ローターアクト、ロータリアン総勢40名以上が宮古までお越しくださいました。今年度から新たに第2520地区に加わった東北学院大学RACからも2名の方が出席され、初めて5クラブが顔を合わせ、交流する良い機会となりました。

本会議では、もともと用意していた議題に沿って話し合いを進めながらも、できる限り時間を確保し、皆さんで議題を出し合い協議できる時間を長く設定いたしました。各クラブの抱えている不安や疑問点などを皆さんで共有し、解決していく良い機会になればと思ったからです。結果は、予想以上に議論が白熱し、地区の抱えるいくつかの問題を明確化することができました。

拙い運営、進行で皆様に迷惑をかける場面もありましたが、地区のより良い未来のために建設的な話し合いができたことを、主催クラブとして嬉しく思います。

今後とも地区代表として努めてまいります。



米山記念奨学会 学友会総会の報告

米山記念奨学会委員会

委員長 小野 寺 勘 治（一関中央RC）

令和8年7月19日（日）に江陽グランドホテル4F真珠の間において、米山記念奨学会学友会総会が開催された。米山学友会は、（公財）ロータリー米山記念奨学会から奨学金を得た元奨学生（学友）と現役奨学生によって構成される自主運営の組織ですが、今回の第2520地区の総会には、学友会員9名、米山奨学生13名、地区役員10名、カウンセラー8名の、合計40名が参加しました。

学友会の副会長ロジェール、デニー・アレン氏の開会の挨拶に続き、会長の文氏の挨拶、臨席ロータリアンの紹介、学友会会員、米山奨学生の自己紹介の後、柴田茂ガバナーが祝辞を述べられた。

総会の議事に移り、文会長の議事進行により、2025学年度の事業活動、収支決算報告、監査報告に続き2026学年度の事業計画、収支予算案、学友会活動案などを審議。すべての議案が原案通り可決され、さらに、来年度以降2年間の役員についても再任した。

これに続き、小野寺委員長の講評、早坂ガバナーエレクト、中田ガバナーノミニの励ましの言葉があり、学友会総会を終了した。総会後の昼食会において、地区役員や学友会会員から活動に対する要望・意見があり、今後の活動に生かしていくことで総会の総括とした。



自己紹介をする米山奨学生

新入会員紹介

 盛岡 RC 齋 藤 慎太郎 2026.7.10 入会 電気器具小売	 盛岡 RC 榎 村 大 輔 2026.7.10 入会 電気通信	 盛岡 RC 阿 部 千恵子 2026.7.24 入会 全国放送	 盛岡北 RC 石 川 逸 平 2026.7.8 入会 自動車教習所	 盛岡東 RC 北 島 幸 洋 2026.7.6 入会 情報通信	 盛岡中央 RC 阿 部 元 信 2026.7.4 入会 レストラン
 北上 RC 永 田 浩 規 2026.7.7 入会 電気事業	 北上 RC 小 田 嶋 栄 司 2026.7.14 入会 電気総合設備工事	 一関 RC 大 場 健 司 2026.7.9 入会 電気工事	 大船渡 RC 金 野 泰 明 2026.7.22 入会 酒類製造	 気仙沼南 RC 菅 野 忠 志 2026.7.1 入会 一般建築	 釜石 RC 高 橋 幸 男 2026.7.21 入会 林業
 宮古 RC 水 澤 光 2026.7.1 入会 金融業	 加美 RC 伊 藤 恵 2026.7.15 入会 生命保険業	 加美 RC 佐 々 木 寛 明 2026.7.8 入会 生命保険業	 加美 RC 佐 竹 和 弘 2026.7.15 入会 自動車販売業	 加美 RC 早 坂 博 幸 2026.7.15 入会 葬儀業	 加美 RC 武 田 龍 2026.7.15 入会 生命保険業
 多賀城 RC 村 上 綾 2026.7.9 入会 生命保険	 仙台 RC 中 里 信 和 2026.7.14 入会 脳神経科	 仙台 RC 市 川 秀 徳 2026.7.28 入会 電力事業	 仙台レインボー RC 鎌 田 雄 作 2026.8.7 入会 電子機器販売	 仙台北 RC 宮 島 督 典 2026.7.1 入会 印刷業	 仙台北 RC 小 柴 雅 一 2026.7.15 入会 不動産業
 仙台宮城野 RC 佐 藤 真 奈 美 2026.7.16 入会 歯科医師	 名取 RC 渡 邊 勝 利 2026.7.13 入会 受託ソフトウェア	 名取 RC 大 友 正 行 2026.7.13 入会 不動産	謹んでご冥福を お祈り申し上げます 大河原 RC 丸 山 勝 利 2026年7月4日ご逝去 (享年61歳) 2009年11月入会		

2025-26 年度 退会会員報告

クラブ	氏 名	職業分類	退会日
塩釜 RC	荒 木 志 朗	印刷業	2026/6/30
多賀城 RC	佐 藤 良 一	不動産仲介業	2026/6/30

2026-27 年度 退会会員報告

クラブ	氏 名	職業分類	退会日
一関 RC	芳 川 春 彦	幼稚園経営	2026/7/16
大船渡 RC	金 野 連	酒類製造	2026/7/1
古川 RC	市 川 雅 朗	獣医	2026/7/31
仙台北 RC	苅 宿 邦 俊	タイヤ・チューブ製造販売	2026/7/30

寄付報告(7月)

ロータリー財団

認 証	所属クラブ	氏 名
メジャードナー	一関中央 RC	小野寺 勘 治
マルチプル・ ポールハリス・フェロー	盛岡 RC	荒 川 鉄 平
	北上 RC	室 岡 雅 子

ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所属クラブ	氏 名
米山功労者メジャードナー	北上 RC	小 原 正 至
	古川東 RC	早 坂 竜 太
米山功労者マルチプル	盛岡 RC	荒 川 鉄 平
	北上 RC	大河原 孝
	一関中央 RC	小野寺 勘 治
米山功労者	一関中央 RC	浅 野 裕 美

2026-2027年度行事予定表(9・10月) 9月は「基本的教育および識字率向上月間」「ロータリーの友月間」です

日 程	行 事	場 所
9月	6日(日) 第7回全国 RYLA 委員長会議	東京 AP 八重洲 &zoom
	7日(月)～8日(火) 第1回ガバナーエレクトラニングセミナー (GELS# 1)	兵庫 神戸ポートピアホテル
	9日(水) 地区ラーニングファシリテーターのためのセミナー	兵庫 神戸ポートピアホテル
	12日(土) RYLA	岩手 盛岡地域交流センター (マリオス)
	26日(土) RLI 研修パート I	岩手 いわて県民情報交流センター
	27日(日) 米山記念奨学会研修会	宮城 江陽グランドホテル
10月	4日(日) 第15回危機管理委員長会議	東京 AP 八重洲 &zoom
	17日(土) 岩沼 RC 創立 60 周年記念式典	宮城 竹駒神社 参集殿
	17日(土) 青少年交換派遣生 (長期・短期) 選考試験	宮城 仙台育英学園高校宮城野校舎
	18日(日) 米山奨学生研修旅行	岩手 えさし藤原の郷
	24日(土) 花巻南 RC 創立 60 周年記念式典	岩手 ホテルグランシェール花巻
	26日(月)～27日(火) 日韓親善会議	兵庫 神戸ポートピアホテル

2025-26 年度クラブ優秀賞受賞クラブ

クラブ優秀賞 (旧「ロータリー賞」) は、年間を通じて特定の目標 (会員数の増加、会員の持続可能な奉仕活動への参加促進、ロータリー財団への寄付、地域社会におけるロータリーの認知度向上、最新の戦略計画の策定など) を達成したクラブを表彰するものです。
第2520地区より、下記4クラブが2025-26年度クラブ優秀賞を受賞されました。誠におめでとうございます。

仙台南ロータリークラブ

仙台西ロータリークラブ

仙台宮城野ロータリークラブ

仙台泉ローターアクトクラブ

UNITE FOR GOOD

お詫びと訂正

8月号で紹介しました新入会員のお名前に間違いがございました。訂正してお詫び申し上げます。

仙台 RC 平澤宏基 会員

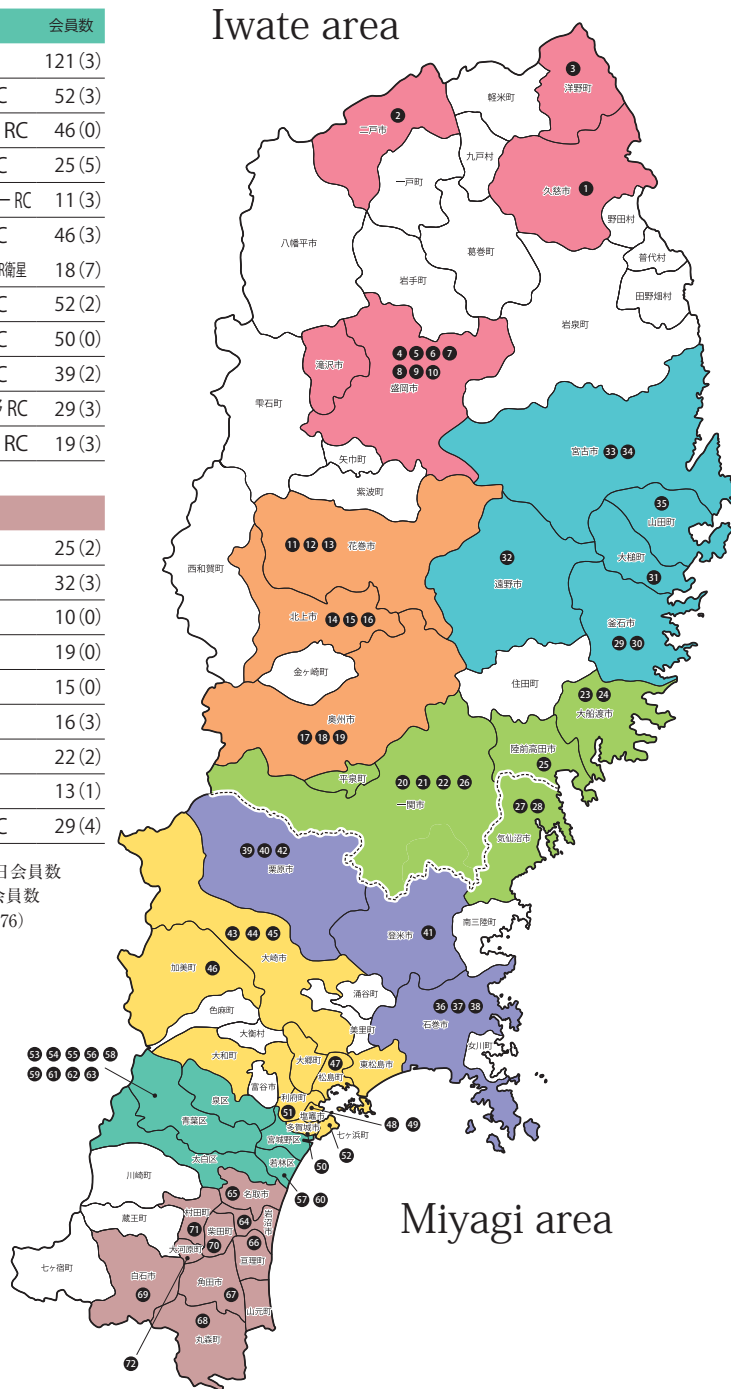
誤：ひらさわ こうき 正：ひらさわ ひろき

仙台 RC 上田 寛 会員

誤：うえだ ひろ 正：うえだ ひろし

第一分区	会員数	第四分区	会員数	第七分区	会員数
1 久慈 RC	24 (1)	29 釜石 RC	21 (2)	53 仙台 RC	121 (3)
2 二戸 RC	49 (7)	30 釜石東 RC	28 (3)	54 仙台泉 RC	52 (3)
3 種市 RC	16 (0)	31 大槌 RC	6 (0)	55 仙台青葉 RC	46 (0)
4 盛岡 RC	73 (3)	32 遠野 RC	8 (2)	56 仙台冠 RC	25 (5)
5 盛岡北 RC	39 (3)	33 宮古 RC	28 (3)	57 仙台レインボー RC	11 (3)
6 盛岡西 RC	21 (1)	34 宮古東 RC	18 (1)	58 仙台南 RC	46 (3)
7 盛岡南 RC	46 (3)	35 山田 RC	19 (1)	仙台南・白石R衛星	18 (7)
8 盛岡東 RC	27 (3)			59 仙台北 RC	52 (2)
9 盛岡中央 RC	27 (3)	第五分区		60 仙台東 RC	50 (0)
10 盛岡西北 RC	42 (6)	36 石巻東 RC	39 (0)	61 仙台西 RC	39 (2)
		37 石巻西 RC	30 (3)	62 仙台宮城野 RC	29 (3)
		38 石巻南 RC	17 (1)	63 仙台奥羽 RC	19 (3)
		39 栗駒 RC	13 (1)		
		40 築館 RC	18 (2)	第八分区	
		41 佐沼 RC	55 (7)	64 岩沼 RC	25 (2)
		42 若柳 RC	24 (7)	65 名取 RC	32 (3)
				66 亘理 RC	10 (0)
		第六分区		67 角田 RC	19 (0)
		43 古川 RC	38 (2)	68 丸森 RC	15 (0)
		44 古川東 RC	40 (1)	69 白石 RC	16 (3)
		45 岩出山 RC	11 (1)	70 柴田 RC	22 (2)
		46 加美 RC	22 (1)	71 村田 RC	13 (1)
		47 松島 RC	8 (3)	72 大河原 RC	29 (4)
		48 塩釜 RC	25 (1)		
		49 塩釜東 RC	11 (1)		
		50 多賀城 RC	21 (4)		
		多賀城1300R衛星	23 (6)		
		51 利府 RC	6 (0)		
		52 セーブ RC	13 (1)		

2026年7月31日会員数
() 内は女性会員数
合計 1,994 名 (176)



表紙写真を提供してくれたクラブの紹介です。

みやこ 宮古ロータリークラブ

宮古ロータリークラブは1958年、盛岡ロータリークラブをスポンサーとして創立し、地域に根ざした奉仕活動を行ってきました。及川新・豊島純三郎の両ガバナーを輩出し、山田・宮古東・宮古西の各クラブや宮古ローターアクト、宮古水産高校インターアクトを提唱するなど、地区の発展にも寄与してきました。2011年の震災時には、姉妹・友好クラブをはじめ国内外のロータリーから大きな支援を受け、地域の復旧・復興に力を尽くしました。こうした歩みを礎に、「超私の奉仕」の精神のもと、地域社会の未来に貢献し続けています。

(宮古 RC クラブ公共イメージ委員長 三浦 利勝)

写真の説明

岩手県宮古市に伝わる国指定重要無形民俗文化財、黒森神楽の演目「山ノ神」の舞。山の恵みと自然への畏敬を表し、勇壮な面と華やかな装束で五穀豊穡や無病息災を祈ります。三陸沿岸を巡行しながら伝承される、地域に根付いた神楽です。

(宮古 RC クラブ奉仕委員会 会報委員 駒井 剛機)

編集後記

9月号では、ガバナーメッセージから始まり、ガバナー公式訪問をはじめ、特別月間によせて、青少年交換事業やローターアクト、米山学友会など、地区内で力強く展開される多彩な活動をご紹介します。会員の皆さまの奉仕の心が、地域の笑顔や次世代の成長につながっていることを改めて感じます。特に、青少年交換派遣には未来への希望が込められており、その積み重ねが「持続可能なインパクト」を生み出していくのだと実感しました。今後も各クラブの魅力ある活動をお届けしてまいります。引き続き月信へのご協力をよろしくお願いいたします。

(月信担当幹事 佐藤 賢司)